

フルーツパーク富士屋ホテルのランチとワインと

迫力の水陸両用バス”KABA”に乗車する山梨の旅



(水陸両用バス “KABA”)

毎年秋に実施する「年金日帰りバス旅行」の行程が決まりました。今年の行き先は山梨県です。写真は山中湖で乗る水陸両用バスの「KABA」号です。陸から湖にジャポンと飛び込むのですが、その様子は弊庫得意先係員が持っているタブレット端末でご覧になれます。得意先係員が伺ったときに声を掛けてください。

旅行名は「フルーツパーク富士屋ホテルのランチとワインと迫力の水陸両用バス”KABA”に乗車する山梨の旅」です。長すぎですね。またそのまんまの名前で申し訳ありません。どうしても良いところを口に出したい気持ちが出てしまいました。



こちらが行程表です。お昼は富士屋ホテルのラ・コリーナというレストランを利用します。お料理は「鶏もも肉の香草ハチミツ焼き」です。また勝沼ワイナリーではワインのミニボトルをお土産に提供いたします。営業店またはお伺いしている得意先係員にお申込み下さい。

【1.ハーブ庭園】



写真は今年の年金バス旅行の最初の訪問地です。

「ハーブ庭園旅日記富士河口湖庭園」が正式名称です。栽培されているハーブは約200種類にも達しています。



実施時期の11月に咲いているのは、花期の長いチェリーセージやアメジストセージ等のセージ系の花です。



また、この時期は「ハーブ大温室」が11月から春先までのシーズンに入って来て年金旅行でご覧になることができます。



ハーブ庭園のお土産売り場です。きれいでセンスのあるお土産が揃っています。

【2.カババス】



カババスはハーブ庭園の後ですが、定員次第でカババスを先にするグループもあります。写真は1号車と2号車が並んだところで車体の構造がよく分かります。山中湖畔の森の中をドライブした後、湖水に入ります。



企画の段階で議論になったのが写真右端のはしご型の階段です。安全に乗り込めるかどうか。それで戦略室の三代調査役が代表して階段に登りに行きました。

階段は見た目より頑丈で、横に人が立てば問題ないだろうということになりました。



豪快な水しぶきです。「カリブの海賊」より凄いかもしれません。バスの大きさや重さが全く違いますからね。

皆様にお願ひです。着水の際は必ず席に座っててください。普段立っているガイドさんも着水するときだけは席に座っています。安全確保のためです。

【3.フルーツパーク富士屋ホテル(昼食)】



年金日帰りバス旅行に昼食場所として使う「フルーツパーク富士屋ホテル」です。春の写真で年金旅行の季節と違いますが、山梨県のフルーツとお花が売りのホテルです。箱根湯本の「富士屋ホテル」や芦ノ湖の「富士屋ホテルレイクビューアネックス」、河口湖の「富士屋ホテル河口湖アネックス」など同じグループホテルはたくさんあります。



こちらは夏の写真です。眺めがよく、ホテルの中もきれいでちょっと得した気分、というのが多くのお客様のコメントです。



ホテルの入り口部分です。「フルーツパーク」というイメージとはちょっと違って見えます。ちなみに「フルーツパーク」とは山梨県の豊かな果物が食べられるという意味で、各種の果物のパフェがお薦めだそうです。



さて、お昼ご飯ですが上の写真にオードブルが付いたものになる予定です。富士屋ホテルの洋食は自ら「フランス料理基調の西欧料理」と言っています。メインは前回エントリーでもお伝えしたとおり、鶏もも肉の香草ハチミツ焼きです。

【4.シャトー勝沼】



富士屋ホテルでの昼食が終わったあと、「シャトー勝沼」に向かいます。明治10年創業、業暦140年を超える老舗です。この遠景こそが「シャトー」を名乗る由縁です。「シャトー」はフランス・ボルドー地方の基準で、ぶどう園でぶどうから生産し広大な敷地と大きな醸造設備を持っていて一貫したワイン作りができる醸造所のことです。



創業者は、今村與三郎さんと言う方で明治初頭の時代に本場フランスのワイン作りを目指しました。「全て手作りで人任せにしない」というのがこだわりです。



樽に詰められ、ゆったりした時間が経過して、良いワインが作り上げられます。



写真には2本写っていますが、ミニボトルをお一人様1本もらえます。残りのお土産はショップと呼ばれる、下の写真の建物で買うことができます。



【5.漬匠昇谷】



シャトー勝沼の次はお土産を買い始めます。写真は甲州薬膳キムチ、漬匠「昇谷」(しょうや)さん。ここ甲府の上野地区は養蚕業が盛んだった頃は一面の桑畑だったのですが、養蚕業衰退に合わせて作物の転換に苦しみました。創業者志村武保が思いついたのは人に貰ったキムチの味でした。その頃はキムチは大いに珍しかったのです。



野菜なら地区全体で大量に供給できます。キムチに合った野菜作りプロジェクトといえる動きが始まったのです。



猛烈に辛そうな唐辛子ですね。辛い物好きにはたまりません。



グアバの葉



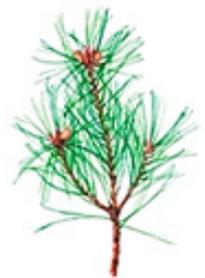
甘茶づる



どくだみ



クコの葉



松の実



柿の葉



鳩麦



熊笹

薬膳というのは、このような身体に良いものを添加してあるからです。グアバは糖の吸収を穏やかにする。甘茶づるはストレスを和らげる。どくだみは整腸作用等、効用がありそうです。



一番人気は「薬膳白菜キムチ」なんですが、たくさん売っていますから変り種をご紹介します。これは「長いもキムチ」です。あっさりと美味しそう。



これは、美味しくないはずはないですね。「海鮮キムチ」。イカとイダコとホタルイカですか？ごはんが進みます、きっとお酒もね。



2 件目のお土産店は「里の駅いちのみや」です。売り場面積は山梨県内最大級。県内の野菜や果物などの特産品が揃います。



山梨県のお菓子のお土産としては「月の雫」。初めて食べたときは中身が本物のぶどうなので驚きました。外側は砂糖を固めたもの。



信玄餅は「桔梗屋」さんのほかにもう1社売っています。「金精軒」さん。



餅にきな粉と黒蜜をつけて食べるのは同じですが、形が違いますね。賞味期限が3日と短いのは美味しい証拠です。



こんなパッケージで売っています。名前が「極上生信玄餅」です。限定数しかなく、買えないことも多いそうですから、どうしても買ってみたい方は、「フラワーパーク富士屋ホテル」で、午前中に買っておくのが正解です。



もう一つ名物があります。「里の駅いちのみや」の手作りパン工房。大工場の製品とは一線を画すホームメイドのパンです。

◆令和元年の年金旅行をご紹介して参りました。是非ご参加ください！

【 実施日程表 】

出 発 日	店 名
11月 5日 (火)	赤羽支店・東王子支店
7日 (木)	砂町支店・牛込柳町支店・江戸川橋支店
11日 (月)	亀有支店・日本橋支店
13日 (水)	本店・蔵前支店・秋葉原支店・菊川支店・石神井支店・豪徳寺支店
14日 (木)	押上支店・京成小岩支店・志村支店・新柴又支店
15日 (金)	新小岩支店・高田馬場支店
18日 (月)	浦安支店
20日 (水)	小山支店・深川支店・堀切支店・東四つ木支店
21日 (木)	池袋本町支店・中野支店
22日 (金)	野方支店・玉川支店・神楽坂支店・京橋支店

※上記支店日程に合わない方は、他支店のご出発日をお選び頂くことができます。

募 集 人 員	1,200名様(先着)
旅 行 代 金	15,000円(当金庫で年金をお受取中の方)
	16,000円(当金庫で年金をお受取予定の方)

【調査・調整】

浦安支店長	宇田川 満弘
新小岩支店長	内沼 真一郎
砂町支店長	中 史郎
京成小岩支店長	尾山 克秀
東王子支店長	福井 隆行
神楽坂支店長	小木 淳
日本橋支店長	木村 真也
小山支店長	石橋 寛史
玉川支店長	吉岡 浩三
地域戦略室お客様応援課	三代 一元
名鉄観光サービス(株)	東崎 英行



<http://www.shinkin.co.jp/to-city/>